



西尾いきものふれあいの里だより

9月号

2023.9.1 発行

# さとやま

## 9月の里といきもの

今年は酷暑に加え、8月中に日本に台風が上陸するなど、過ごしにくい夏になりました。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、近年では9月になってもなかなか気温が下がらず、ヒガンバナの見頃がだんだん月末にずれていっています。

### ヒガンバナ



ヒガンバナ科に分類される多年草です。土中の花芽は9月になると温度変化を感じて花芽を出します。5~7個の花が輪生状に外向きに並び1つの花のように見えます。

1つ1つの花は大きく反り返った花弁が6枚、雄しべが6本、雌しべが1本あります。普通は赤色ですが、色素のない白色のものもあります。

中国大陸原産で、日本には有史以前、稲作伝来時に渡来した外来種だと考えられています。全草に毒があり、モグラやネズミを避けるため、あぜや土手に植えられました。



日本で繁殖しているものは、花を咲かせますが、種子ができません。染色体数が基本数の3倍ある三倍体であるためです。球根でのみ増えるクローンなので、開花時期や草丈などの特徴がほぼ同じです。また、人の手で植えられたところを中心に増えていき、人の入らないところでは見られません

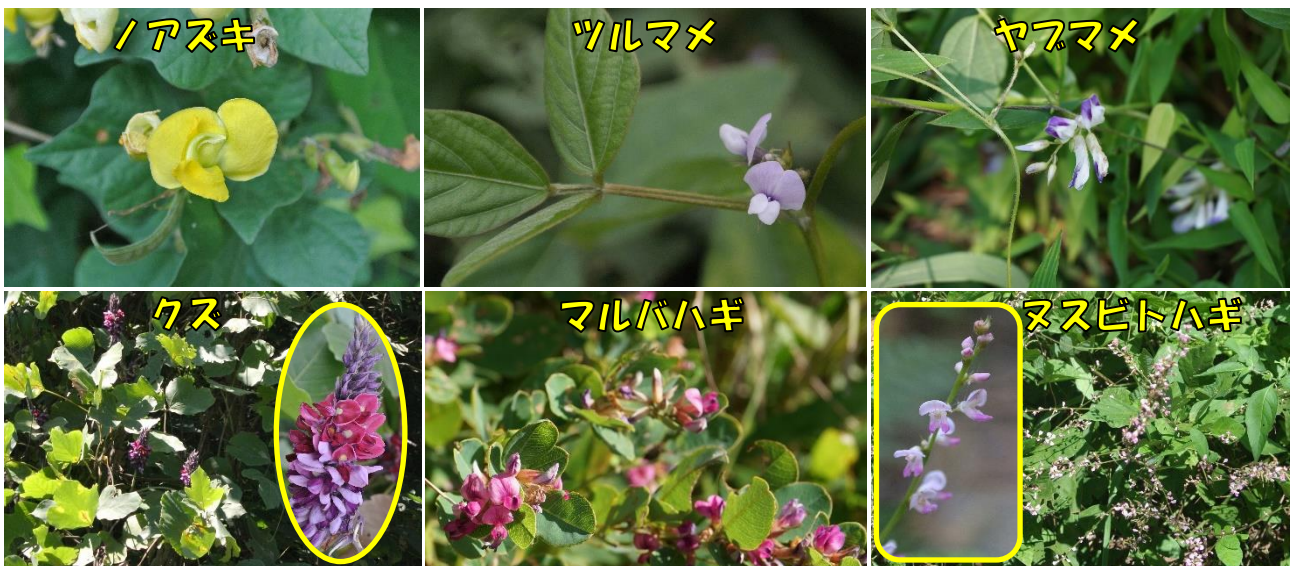
花の根元を見ても、葉がなく、何もないところから生えてくるように見えるので、咲く時期も合わせて、「幽霊花」などと呼ばれることもあります。花が終わると細長い葉が出てきて、他の植物が少ない冬に太陽光を独り占めし養分を蓄え、他の植物が茂る春になると枯れ、暑い夏は休眠し蓄えた養分で秋に花を咲かせます。



### 9月はこんな生きものも見られます

この時期はマメ科の花が多く咲きます。マメ科の花は、特徴的な姿をしているのですぐ見分けることができます

ビオトープ上の池付近や、小草池へ向かう道ののり面では、耳のような形のノアズキの花がたくさん見られます。里山エリアや万灯山エリアの日当たりのよいところではツルマメ、日当たりの悪いところではヤブマメの花が咲きます。ツルマメは、ダイズの原種だと言われています。鞘を茹でて枝豆のように食べることができるそうです。また、ダイズの品種改良にも利用されます。ヤブマメは、花のあと地上にできる鞘の中には、うずら豆によく似た種子ができます。地下にできる咲かない花、閉鎖花の種子は大きくて食べられるそうで、アイヌ人は、集めて食べていたそうです。ノアズキは花がアズキに似ていますが、アズキの原種ではありません。



里のあちこちで、秋の七草のクズの花が見つかります。つる植物でよく茂るので、厄介者扱いですが、この根からとった澱粉は「くず粉」と呼ばれ利用されていました。

萩も秋の七草の一つです。代表的なものは万灯山山頂などにあるマルバハギです。「草」と呼ばれていますが萩はほとんど木本です。草本で「萩」と呼ばれるヌスビトハギは、実はひつつき虫になります。杉林の道や、万灯山エリアでよく見られます。

万灯山では、コロナ以降昨年やっと再開された「貝吹のかぎ万燈」が、今年は台風の接近で、中止になりました。

そのため、山頂付近の植物たちが残ることになり、7月にご紹介したママコナの花も見ることができます。また、赤くない萩**ハイメドハギ**の花も多く咲くことになるでしょう。**ツリガネニンジン**も早くから花をつけることができます。

万灯山エリアやビオトープ上の池付近では、キセルの雁首のような姿の**ガンクビソウ**が花をつけます。



ハイメドハギ



ツリガネニンジン



ガンクビソウ



ヒメキンミズヒキ



アメリカセンダングサ



キツネノマゴ

また、**ヒメキンミズヒキ**の星形の可愛い花も見つけることができます。キンミズヒキのなかまも実はひつつき虫になります。

ひつつき虫と言えば、在来種のものより早く、外来種の**アメリカセンダングサ**のライオンのたてがみのような花が万灯山エリアなどで見られます。また、里のあちこちで、花穂が狐の尾のような**キツネノマゴ**も咲き始めます。

胃の薬になる**ゲンノショウコ**は、ビオトープ上の池やセンター付近に赤花が、中央広場から上の道辺りに白花がみつかります。富士川あたりを境に東日本に白花が多く、西日本に赤花が多く分布します。

ハンノキ広場から、トンボの里付近では、葉柄が筍の皮のように見える**ノダケ**の花が咲いています。杉林や万灯山エリアでは、大きいですが、ノダケの花によく似た咲き方で、**アシタバ**が白い花をつけます。これは本来房総の南部、伊豆諸島等暖地の海岸沿いに自生するものですが、名の由来でもある「今日、葉を摘んでも明日には芽が出る」というほど生命力が旺盛で、野菜として栽培されているところから、里でも移植されたものと思われる。



ゲンノショウコ

赤花

白花



ノダケ



アシタバ

まだまだ残暑が続きますが、こんな秋の花たちを探して里を散策してみてください。

## 8月の行事紹介



「夏休み昆虫教室」を8月6日(日)に開催しました。  
最初にクワガタなどを観察するため、トンボの里へ向かいました。今年は運よく、カブトムシ、ノコギリクワガタや滅多に捕まえることができないミヤマクワガタを採取し観察することができました。次に、県指定の天然記念物のヒメタイコウチを子どもたちに見せたく里山エリアに移動しました。こちらも運よく採取でき観察し、速やかに元の場所に戻してやりました。今年は、強運な子どもたちが集まり、熱心に珍しい昆虫の観察ができました。

## 9月の行事予定

17日(日)	楽しい絵手紙	20名	AM9:30~11:30	市川百合子
--------	--------	-----	--------------	-------

内容 ~ 「ヘタでいい ヘタがいい」とハガキにはみだす位に大きく書こう。  
緑がいっぱいのふれあいの里の自然の植物や生物を、心を込めて書きましょう。

24日(日)	秋の里山で野鳥を観察しよう	20名	AM9:30~11:30	高田俊洋
--------	---------------	-----	--------------	------

内容 ~ 秋の里山で野鳥を観察します。北から南へ渡ってゆく旅の途中の小鳥を観察します。

## 10月の行事予定

8日(日)	棚田でお米を作ろうⅡ	60名	AM9:30~11:30	当園職員
22日(日)	棚田でお米を作ろうⅢ	60名	AM9:30~11:30	当園職員

内容 ~ 実った稲をカマで刈取り、はざ掛け乾燥させ、脱穀機で稲から籾を取り除く作業を行います。

※「棚田でお米を作ろう」を2回受講された方には、お米をプレゼントします！また、雨天等で中止した場合は、1週間後の予備日に開催します。【予備日：8日⇒15日・22日⇒29日】

28日(土)	万灯山へ秋のお花畑を見に行こう	20名	AM9:30~15:00	高須桂子
--------	-----------------	-----	--------------	------

内容 ~ 秋の生き物を観察しながら、山頂のツリガネニンジンのお花畑を楽しみにウォーキングしよう。

- ◇ 参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が4名以下の場合には開講しません。
- ◇ 参加申込者は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ 当日の天候により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、参加費は無料ですが、講座により材料費は実費を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ 各講座の詳細な内容については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

## 西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266  
◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課